

めざせタンポポの花



タンポポの花、よく知っていますね。タンポポの花ってどれでしょうか。そうです。君たちが花びらだと思っているのが実はひとつひとつの立派な花なんです。

この花ひとつひとつに雄しべ雌しべがあり、ひとつひとつが受粉し実を結ぶのです。そして種を付けてあの綿毛になるのです。



こういった形態の花を「集合花」っていうのです。

ひとつひとつの花は小さくてもその花々が力をあわせ、寄り添い、助けあいながら大きな「花」を作り上げていくのです。まるでクラスのようなのです。ひとり一人が立派な花を咲かせ、そしてそのひとり一人の花が集まって大き

なあこのタンポポの花を咲かせるのです。ひとりでも花をつけないと大きな花にならないのです。

この2組のタンポポの花、1年後中学生になるとときには立派に花をつけ、実を結び、綿毛になって飛び立ってほしいと思うのです。

そこで、担任からのこのクラスのテーマは、

「6年2組のタンポポの花を咲かそう」

教室の前のところにタンポポの大きな花を咲かせようではありませんか。ひとつひとつのタンポポの花にクラスのまとまりや、うれしい出来事などがあれば記入して貼っていこうと思います。そして大きな大きな6年2組のタンポポの花を咲かせたいですね。



でもこの二つのタンポポの花ちょっと違いますね。実は違う種類のタンポポなんです。調べてみると面白いですね。詳しくは次の通信で！

明日第一回目の委員会活動です。